

III 臨床編
III-2 腎疾患

用語	かな	欧文表記	略語	同義語・関連語	解説
IgA腎症	あいじいえーじんしょう	IgA nephropathy			IgAが免疫複合体を形成し、腎系球体メサンギウム領域に沈着することを特徴とする腎疾患。
アミロイド腎	あみろいどじん	amyloid kidney		AL amyloidosis, AA amyloidosis	系球体、尿細管間質、間質血管壁などにアミロイドが沈着した状態。系球体に沈着した場合は高度のネフローゼ症候群を呈する。急速に進行することは稀で、多くは慢性腎臓病としての経過をとる。
ABO不適合腎移植	えーびーおーふてきごうじんいしよく	ABO-incompatible kidney transplantation			ドナーとレシピエントの血液型の不一致により免疫反応を起こしてしまう状態(不適合)で行われる腎移植。
SGLT2阻害薬	えすじーえーるていーつーそがいやく	sodium/glucose cotransporter 2 inhibitor			尿に糖を出すことで血糖を下げる薬剤。
FGF23	えふじーえふにじゆうさん	fibroblast growth factor-23	FGF23		骨細胞で作られて、血中に分泌されるホルモンの一つ。血中のリンを低下させる働きがあり、血中のリンを一定の範囲に調節する因子の一つ。
L-FABP	えるえふあーびーびー	liver-type fatty acid-binding protein			腎臓の近位尿細管に発現する分子量14 kDaの可溶性蛋白であり、腎臓の再吸収機能を担う尿細管において、エネルギー代謝や脂質代謝に重要な役割を担う。近位尿細管が虚血や酸化ストレスの負荷を受けると発現が増強し、尿中への排出が増加することから、組織障害が進行する前のストレスの程度を反映する新しいバイオマーカー。
LDLアフェリシス	えるでいーえるあふえれしす	LDL apheresis	LDL-A		患者血漿から陽性荷電のLDLコレステロールを陰性荷電のビーズに吸着させることで分離除去する方法
ガラクトース欠損IgA1	がらくとーすけつそんあいじーえーわん	abnormally glycosylated IgA1			ガラクトースが欠損したO結合糖鎖をもつ糖鎖異常IgA1。健常者に比してIgA腎症の患者血清で増加している。
急性腎障害	きゆうせいじんしょうがい	acute kidney injury	AKI		数時間から数日という短期間で急激に腎機能が低下する病態。病態により腎前性、腎性、腎後性に分類される。
急性尿細管壊死	きゆうせいにようさいかんえし	acute tubular necrosis	ATN		腎機能障害や腎不全を生じる急性の尿細管細胞障害と機能障害。低血圧や薬剤(造影剤、アミノグリコシド系抗菌薬、シスプラチンなど)によるものが多い。
急速進行性糸球体腎炎	きゆうそくしんこうせいしきゆうたいじんえん	rapidly progressive glomerulonephritis	RPGN	半月体形成性腎炎	急性あるいは潜在性に発症する肉眼的血尿、蛋白尿など腎炎様の尿所見を呈し、貧血や急速に進行する腎機能障害を生じる症候群。典型病理所見は多数の糸球体に細胞性から線維細胞性の半月体形成を認める壊死性半月体形成性糸球体腎炎。
抗好中球細胞質抗体	こうこうちゆうきゆうさいぼうしつこうたい	anti-neutrophil cytoplasmic antibody	ANCA		好中球の細胞質内顆粒とリソソームを対応抗原とする自己抗体の総称。P(MPO)-ANCAとC(PR3)-ANCAがある。
抗好中球細胞質抗体関連腎炎	こうこうちゆうきゆうさいぼうしつこうたいかんれんじんえん	anti-neutrophil cytoplasmic antibody (ANCA)-associated nephritis	ANCA関連腎炎		ANCA陽性で、急速進行性糸球体腎炎の形をとり、病理組織学的に蛍光染色陰性の半月体形成腎炎を呈する腎炎。
抗糸球体基底膜(抗体)腎炎	こうしきゆうたいきていまく(こうたい)じんえん	anti-glomerular basement membrane antibody nephritis		Goodpasture症候群	血清中又は腎系球体に抗糸球体基底膜抗体を認め、典型例では腎系球体に急速かつ激的な炎症が起こり、数週から数か月間の経過で腎機能が急速に低下する急速進行性糸球体腎炎症候群を呈する。
抗糸球体基底膜抗体	こうしきゆうたいきていまくこうたい	anti-glomerular basement membrane antibody	抗GBM抗体		糸球体基底膜(glomerular basement membrane:GBM)に対する自己抗体である抗GBM抗体が原因となり、肺出血や急速進行性糸球体腎炎(rapidly progressive glomerulonephritis: RPGN)を来す。
抗THSD7A抗体	こうていえつちえすでいせぶんえいこうたい	thrombospondin type-1 domain-containing 7A			糸球体上皮細胞(ポドサイト)の表面に発現しており、一次性膜性腎症の原因抗原の一つ。
抗PLA2R抗体	こうぶらつーじゆうたいこうたい	phospholipase A2 receptor antibody	ホスホリパーゼ A2 レセプター抗体		糸球体上皮細胞(ポドサイト)の表面に発現する膜貫通蛋白質。一次性膜性腎症の原因抗原の一つ。
コレステロール塞栓症	これすてろーるそくせんしょう	cholesterol crystal embolism	CCE		動脈硬化が強い症例で、血管内カテーテルの操作や血管手術により、動脈壁にあるプラークの成分であるコレステロール結晶がはがれ、末梢の小動脈に塞栓症を引き起こす病態。
シナプトポディン	しなぶとぽでいん	synaptopodin			ポドサイトの細胞骨格関連蛋白の一つ。
腎代替療法	じんだいたいりょうほう	renal replacement therapy	RRT	血液透析(HD)、血液濾過(HF)、血液透析濾過(HDF)、腹膜透析(PD)	廃絶あるいは著明に低下した腎機能を補完する治療法。
巣状分節性糸球体硬化症	そうじょうぶんせつせいしきゆうたいこうかしょう	focal segmental glomerulosclerosis	FSGS	巣状糸球体硬化症, focal glomerulosclerosis (FGS)	臨床的にタンパク尿(通常はネフローゼ症候群)を呈し、一部(巣状)の糸球体に部分的な(分節性)硬化病変を認め、電顕にて広範な糸球体上皮細胞の足突起の消失(effacement)を呈する症候群。多くは急速に進行し、ステロイド抵抗性で末期慢性腎不全に進行する場合も多い。さらに腎移植後の再発も多
DSA陽性腎移植	でいえすえーようせいじんいしよく	donor specific antibody positive kidney transplant			DSA陽性の場合、腎移植後に高率に抗体関連拒絶反応を惹起し、移植腎機能予後に多大な影響を及ぼす。
低酸素誘導因子	ていさんそゆうどういんし	hypoxia-inducible factor	HIF		組織低酸素に対する生理的反応を司る主要な転写因子。造血にかかわるエリスロポエチン(EPO)は HIF の標的遺伝子の一つ。
透析アミロイドーシス	とうせきあみろいどーしす	dialysis-related amyloidosis	DRA	透析アミロイド症	β2ミクログロブリン由来のAβ2Mというアミロイド蛋白が沈着して生じる長期透析の合併症。主に骨や軟骨、滑膜などの骨関節組織にアミロイドの沈着が起こり、手根管症候群やばね指、多関節痛、破壊性脊椎関節症など多彩な症状を呈する。
糖尿病性腎症	とうりょうびょうせいじんしょう	diabetic nephropathy			糖尿病の合併症により腎臓の機能が低下した病態。
糖尿病性腎臓病	とうりょうびょうせいじんぞうびょう	diabetic kidney disease	DKD		糖尿病性腎臓病は、蛋白尿が出現したのちに腎機能が低下する古典的な糖尿病性腎症に加え、蛋白尿は少量で腎機能のみが低下する非典型的な糖尿病性腎症を含む概念。
ドナー	どなー	donor			移植用の臓器・骨髄や、輸血用の血液などを提供する人。
ドナー特異的同種抗体	どなーとくいできどうしゆうこうたい	donor specific alloantibody	DSA		移植・輸血・妊娠により、非自己のHLA抗原に感作された場合、抗HLA抗体を産生する。臓器移植・造血幹細胞移植前にレシピエントの血清中に抗HLA抗体がある場合、移植後急性拒絶を起こす可能性がある。
トランスサイレチン	とらんすさいれちん	transthyretin		ブレアルブミン	肝で合成される血清蛋白の一つでレチノール結合蛋白質やサイロキシンの担体となる。栄養状態の指標としても重要。一方、異常トランスサイレチンはアミロイドーシスの原因物質となる。
難治性ネフローゼ症候群	なんちせいねふろーぜしやうこうぐん	refractory nephrotic syndrome			種々の治療(副腎皮質ステロイド薬と免疫抑制薬の併用は必須)を施行しても、6か月の治療期間に完全寛解しない不完全寛解 I 型に至らないもの。
尿細管-糸球体フィードバック	にょうさいかんしきゆうたいふいーどばっく	tubuloglomerular feedback			緻密斑は遠位尿細管尿においてNaCl濃度を感知している。Na濃度の変化により緻密斑が輸入細動脈を収縮・拡張させてGFRを調整する機構。
尿毒症	にょうどくしやう	uremia		末期腎不全	腎不全が進行して出現する症状の総称。頭痛、倦怠感、食思不振、皮膚掻痒感から意識障害、尿毒症肺や心膜炎まで多彩な症状を呈する。
ネフリン	ねふりん	nephrin			ネフリンは糸球体ポドサイトの細胞表面に存在する物質で、隣り合った細胞のネフリン同士が組み合せて篩(ふるい)を形成している。これをスリット膜と呼ぶが、その篩の穴が非常に小さいので、血液中の大きな蛋白質は尿に漏れないようになっている。
ネフローゼ症候群	ねふろーぜしやうこうぐん	nephrotic syndrome			大量の糸球体性蛋白尿(3.5 g/日以上)の結果、低アルブミン血症(3.0 g/dL未満)や浮腫が出現する腎疾患群。原因疾患がある二次性のものと、明らかな原因疾患がない一次性ネフローゼ症候群に分類される。
半月体形成性腎炎	はんげつたいけいせいせいじんえん	crescentic glomerulonephritis	Crescentic GN	急速進行性糸球体腎炎	組織学的にポウマン嚢に半月体を認める腎炎。ANCA関連腎炎、抗GBM抗体腎炎などでみられ、臨床的にRPGNを呈する。

微小変化型ネフローゼ症候群	びしょうへんかがたねふるーぜしょうこうぐん	minimal change nephrotic syndrome	MCNS		ネフローゼ症候群を呈するが、光学顕微鏡上は病理組織学的な変化をほとんど認めない疾患群。
ブラジキニン	ぶらじきにん	bradykinin	BK		ブラジキニンは8個のアミノ酸からなるペプチドで、オータコイドと呼ばれる局所ホルモンの一つ。アフェレスिसでは陰性荷電した吸着カラムにより血液中の内因性凝固因子が活性化され誘導される。血管拡張作用を有し、顔面紅潮や血圧低下をきたす。
プロリン水酸化酵素	ぶろりんすいさんかこうそ	prolyl hydroxylase domain containing protein	PHD		酸素濃度依存性にHIFを制御している酵素。PHD阻害薬はPHDを阻害し、HIFを安定化することで貧血を改善する。
β2-ミクログロブリン	べーたつーみくろぶりん	β2 microglobulin	β2-MG		分子量11,800の単鎖のポリペプチド、血清β2-MG値はリンパ腫瘍(多発性骨髄腫など)や自己免疫疾患などで高値を示す。また尿中β2MGは近位尿細管障害の指標となる。さらに透析アミロイド症の原因物質である。
ポドシン	ぽどしん	podocin			ポドシンは、ネフリンを始めとするスリット膜タンパクと結合し、スリット膜タンパク複合体を細胞骨格と結合・連結する足場蛋白としての機能を持つ。
膜性腎症	まくせいじんしょう	membranous nephropathy	MN	膜性糸球体腎炎	一次糸球体疾患の病理組織学型の一つ。糸球体基底膜上皮下の免疫複合体沈着および糸球体基底膜の反応性変化(びまん性の肥厚など)を特徴とする。
ミネラル骨代謝異常	みねらるこつたいしやいじょう	mineral and bone disorder	MBD		慢性腎臓病(CKD)による骨ミネラル代謝異常。CKDでは骨病変が起こるのみならず、血管を含んだ全身の石灰化を介して生命予後に影響する。
免疫グロブリン大量静注療法	めんえきぐろぶりんたいりょうじょうちゅうりょうほう	high dose intra-venous immunoglobulin	IVIG	免疫グロブリン療法	免疫グロブリン製剤の大量静注により、食食能の抑制、補体系の抑制、自己抗体の制御、炎症性サイトカインの抑制などの薬理作用を介して効果を発揮する治療法。
IV型コラーゲン	よんがたこらーげん	type IV collagen			基底膜緻密層の主要構成成分となる膜型コラーゲン。
リンパ球クロスマッチ	りんぱきゅうくろすまっち	lymphocyte cross match			抗HLA抗体により輸血不応状態に陥った血小板輸血患者や臓器移植患者のリンパ球直接交差試験として、患者(レシビエント)由来の抗体と提供者(ドナー)由来の抗原の反応を検査し患者由来の抗体を測定するために行う検査。
レシビエント	れしびえんと	recipient			ドナーの臓器を提供される人。